

2018年3月度活動報告

1 日 (木)	全国漁業組合連合会 全国青年・女性漁業者交流大会審査会
2 日 (金)	〃
5 日 (月)	食と農を考えるフォーラム 那須烏山市行政訪問
6 日 (火)	第7回役員・幹部職員定期学習会
8 日 (木)	栃木県報道代表者会との懇談会 栃木放送番組審議会 栃木県食育推進連絡会 被災地の情報提供「3.11を忘れない」HPへアップ
9 日 (金)	NPO法人とちぎ消費者リンク事例検討委員会
13 日 (火)	第5回常務理事会
11 日 (日)	安心システムユナイテッド理事会(市川)
15 日 (木)	食の安全ネットワーク全体会学習会「種子法について」
16 日 (金)	2017年度沖縄視察研修
17 日 (土)	〃
18 日 (日)	〃
19 日 (月)	〃
20 日 (火)	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
22 日 (木)	NPO法人とちぎ消費者リンク主催学習会および事務局会議
27 日 (火)	第8回役員・幹部職員定期学習会 栃木県暮らし安心安全課訪問
29 日 (木)	第5回中央地連運営委員会・県連活動推進会議 日生協中央地区総会議案検討会議

【3月度の振り返り】

◇機関運営

- 6 日 第7回役員・幹部職員定期学習会
- 8 日 栃木県報道代表者会との懇談会
- 13 日 第5回常務理事会
- 16～19 日 2017年度沖縄視察研修
- 27 日 第8回役員・幹部職員定期学習会

◇行政関連

- 5 日 那須烏山市行政訪問
- 8 日 栃木県食育推進連絡会
- 27 日 栃木県暮らし安心安全課訪問

◇ネットワーク活動

- 15 日 食の安全ネットワーク全体会学習会「種子法」
- 20 日 とちぎ消費者ネットワーク幹事会

◇被災地支援

- 8 日 被災地の情報提供「3.11を忘れない」

◇その他

- 1～2 日 全漁連全国青年・女性漁業者交流大会審査会
- 5 日 食と農を考えるフォーラム
- 8 日 栃木放送番組審議会
- 11 日 安心システムユナイテッド理事会(市川)
- 29 日 第5回中央地連運営委員会・県連活動推進会議  
日生協中央地区総会議案検討会議

〈NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動〉

- 9 日 事例検討委員会
- 22 日 学習会、事務局会議

# 県連活動

## 1. 機関運営

- 3月13日(火)、第5回常務理事会を開催し、以下の議案を確認しました。

### ■議決事項

決算報告及び次月度以降の取り組み承認

4月10日第6回・定例理事会の附議事項（通常議案報告、第49回定例総会関連）

代議員定数と会員別議員数、役員推薦委員の選任、役員定数枠承認及び区分別役員定数、全体区理事推薦承認

### ■協議報告事項

総会議案書の検討、役付き役員体制、月度定例報告

- 3月16日(金)～19日(月)、沖縄県へ視察研修を行いました。(5団体18名参加)

3年目の取り組みとなる今回は、沖縄本島戦跡、基地に加え、石垣島のミサイル基地建設予定地視察と竹富島の自治憲章を学びました。米軍基地の存在が、自主的な政策や経済的発展の足かせとなっている現状に、改めて日本全体で向き合っていく必要性を感じました。

日程	視察内容	解説者
3月16日 (金曜)	【視察研修】沖縄本島南部戦跡 宇都宮発 6:26→ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館→沖縄平和祈念資料館・平和の礎→南風原病院壕群 20号 沖縄県生協連との交流会	湧田氏(自治研究所) 稲福氏(自治労連)
3月17日 (土曜)	【視察研修】新基地建設予定地 米軍基地 嘉数高台公園・普天間基地・嘉数高地戦跡→辺野古テント村大浦湾 →キャンプシュワブゲート前→恩納村(米軍属女性暴行殺人事件遺体遺棄現場)→嘉手納基地	稲福氏(自治労連)
3月18日 (日曜)	【視察研修】竹富島自治憲章について 新里村遺跡→美崎御嶽→なごみの塔→西唐御嶽 →歴史的景観形成区「まちなみ館」にて竹富島憲章→竹富小中学校→仲筋井戸→仲筋御嶽	石垣氏 (元高校校長)
3月19日 (月曜)	【視察研修】石垣島内 パンナ丘公園→唐人墓→伝統手織工芸館(ミンサー織) →元海底電線陸揚室(電信屋)→川平湾→18:05 羽田着	



沖縄南部の戦跡から中部の米軍基地や新基地建設予定地をたどり、戦争の悲惨さと、辺野古の現状へとつながる日本の歴史について学び、石垣島・竹富島では、住民自治・環境・平和について等、辺野古の海以外でも起きている問題の存在を学びました。

パイナップル農家の方が、本島の畑を基地に奪われ、移り住んだ石垣島で開墾した農場を、今度はミサイル基地建設のために奪われるというお話等、理不尽なことが起こり続けている沖縄の現実を目の当たりにし、安全保障とは、地方自治とは何であるのかを深く考える機会となりました。参加者一同多くの体験をし、肌で、心で、平和の大切さを感じ取る視察となりました。(今回の視察も、沖縄自治研究所の湧田 廣 氏にコース設定、解説者のご紹介等、大変なご尽力を戴きました。心より御礼申し上げます)



山の向こうが石垣市のミサイル新基地建設予定地。現在は果樹園。本島の果樹園を基地に奪われ、ここで開墾した方の果樹園が再び…



説明する石垣氏

嘉数高台から普天間基地を俯瞰  
米国側から、嘉手納基地と普天間の統合案を提案された事があったが、日本政府が辺野古新基地にこだわったという…

## 〈学習会〉

- 3月6日(火)、2017年度第7回役員・幹部職員 定期学習会を開催しました。

■演題：生鮮水産物の価値と消費拡大の課題

■講師：鹿児島大学水産学部 水産経済学分野教授 佐野 雅昭 氏  
昨年に続き、鹿児島大学の佐野先生を講師に、今日的な漁業の問題と、それを取り巻く環境について学びました。

漁業の危機の一義的な問題は、資源の枯渇ではなく、漁業従事者や魚食文化を知る人材の減少です。子どもの頃から様々な旬の魚に親しみ、おいしいと思う気持ちが、結果的に漁業を守ることにつながるとのお話に、私たちの暮らしと漁業が密接に結びついていることを改めて考えました。また、日本の漁村が伝統的に行っている漁は、認証マークがなくても十分に持続可能なものであることや、魚が海から消えるというような「トンデモ本」の存在背景には、一部企業の利益誘導があること等をお聞きし、正しい情報を得ることの難しさと大切さも学ばせていただきました。



- 3月27日(火)、2017年度第8回役員・幹部職員 定期学習会を開催しました。

11月から3月の学習会の内容「人権と環境(エネルギー、海洋)」について、学んだことに基づきワークショップと全体討論を行いました。

参加者それぞれが各回を振り返り、事前に個人レポートを作成し、当日資料としました。午前はグループ毎に話し合った結果を代表者がパネラーとなって報告・ディスカッションを行い、午後は各々参加組織毎に、問題解決に向けて話し合い発表しました。



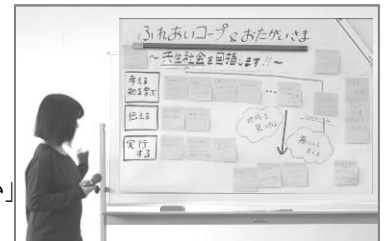
### ◇事前提出レポートのテーマ

「人権・環境の学習から感じたこと」「自分の問題意識」

■コーディネーター 栃木県生協連会長理事 竹内 明子

■午前のテーマ「なぜ、こういうことがおきるのか」

■午後のテーマ「これらの問題を解決していくにはどうしたらよいのか」



- 3月8日(木)、栃木県報道代表者会との懇談会を開催しました。

生協の理解を広めるため、毎年実施している報道機関との懇談会は、報道代表者会から10社10名、生協連から22名が参加し、生協の事業と活動等について交流しました。

〈参加報道機関…下野新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、共同通信社、時事通信社、NHK宇都宮放送局、とちぎテレビ、栃木放送〉



## 3. その他

- 3月5日(月)、食と農を考えるフォーラムが開催され、消費者等440名が参加しました。

JAグループ栃木主催、栃木県生協連後援で開催しました。基調講演は「食ることが農業・農村の応援になる」等、国内農業や国産農畜産物の消費拡大の重要性等についてお話しいただきました。また、農業従事者とJAから、地域農業振興の取り組みについて報告がありました。

■講演：食と農業の今と未来

■講師：フリーアナウンサー・農業ジャーナリスト(ベジアナ) 小谷 あゆみ 氏

■報告：①伝えたい!農業の魅力～ニラの栽培と青年部活動について～(JA 栃木青年部連盟)

②「新鮮、安全安心でおいしい地元産農産物を販売!」(JA しもつけ営農部園芸販売課)

③「安全安心なトマト生産をめざして!」(鹿沼市トマト生産者)

- 3月22日(木)、NPO 法人とちぎ消費者リンク主催で学習会を開催しました。

適格消費者団体を栃木県に作る意義等について、啓発のための学習会を開催し、消費生活相談員や生協等から30名が参加しました。

■演題:消費者問題の今日的課題

■講師:NPO 法人とちぎ消費者リンク理事長 弁護士 山口 益弘 氏



## ネットワーク活動

### 1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 3月15日(木)、とちぎ食の安全ネットワーク全体学習会を開催しました。

2018年3月末廃止が決定した「種子法」について学習しました。

■演題:種子法廃止とこれからの日本の農業について

■講師:元農林水産大臣 弁護士 山田 正彦 氏

「米、麦、大豆」等、国民の糧となる主要農作物の種について、国が責任を持ち、優良な種を安く安定的に農家に供給することを義務付けた「種子法」が廃止されます。種子法により、地域の特性に合わせた育種を国が保証する面もありました。廃止の主な理由は「民間企業の参入を促進して生産資材の価格を下げるため」となっていますが、利益を求める企業が「公共種子」より安く供給できるのか、疑問視されています。また、将来的には遺伝子組み換え等を扱うグローバル企業に、種子の権利を全て押さえられてしまうのではないかという懸念や、日本の共有財産として培ってきた種子の情報等を民間企業に無償提供することになり、それをベースにした特許取得が可能になることから、利益の二重取り問題と指摘されています。



山田先生は、「種子」は食糧生産の根幹であり、その権利を国(民)が掌中に収めていることは極めて重要、種子法に代わる議員立法等や、国民の意思表示が必要との認識を示されました。

### 2. とちぎ消費者ネットワーク

- 3月20日(火)、第6回とちぎ消費者ネットワーク幹事会を開催しました。

幹事会学習会として「最近の消費者トラブルと対処法」をテーマに、とちぎ消費者ネットワークの山田 英郎 代表(NPO 法人消費生活センター理事)よりお話しいただきました。

その他、「消費者行政アンケート」を基にした行政訪問の進捗状況報告、3月22日にNPO 法人消費者リンクが行う学習会「消費者問題の今日的課題」の告知、「地方消費者行政プロジェクト」「消費者委員会委員との意見交換会」等について話し合いました。

- 3月5日(月)、那須烏山市へ行政訪問を行いました。

消費者行政の充実のため、市長や消費生活の担当部署へ、行政訪問を行いました。

11月27日(月) 矢板市	11月30日(金) 佐野市	12月22日(木) 真岡市	1月19日(金) 大田原市
1月31日(水) 下野市	2月20日(火) 那須塩原市	3月5日(月) 那須烏山市	

## 被災者支援

### 1. 被災者支援の取り組み

- 3月8日(木)、被災地の情報提供

みやぎ生協さんの発信「3.11を忘れない～被災地のいま～第55回・職場で一緒に子育てができるから、安心して赤ちゃんを産むことができた」をホームページに掲載しました。

## 2018年4月度スケジュール

2 日 (月)	くらし部会
5 日 (木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会 栃木県労働者福祉協議会幹事会
6 日 (土)	協同福祉会(奈良県)
7 日 (日)	〃
10 日 (火)	第5回定例理事会 NPO法人とちぎ消費者リンク事務局会議
12 日 (月)	NPO法人とちぎ消費者リンク監査
15 日 (日)	NPO法人とちぎ消費生活サポートネット理事会
16 日 (月)	とちぎ消費者カレッジ(自治医大)
17 日 (火)	NPO法人とちぎ消費者リンク理事会
21 日 (土)	NPO法人とちぎ消費者リンク第3回総会 および 記念講演
24 日 (火)	第9回役員・幹部職員 定期学習会(生産と消費)
25 日 (水)	NPO法人とちぎ消費者リンク事例検討会
28 日 (土)	福祉まつり 栃木県メーカー中央大会
27 日 (金)	福祉センター理事会

## 2018年5月度スケジュール 予定

3 日 (木)	栃木県主催「地域共生社会」トップセミナー
8 日 (火)	第6回常務理事会 とちぎ消費者ネットワーク幹事会
10 日 (木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
17 日 (木)	総合防災訓練第1回全体会議
18 日 (金)	とちぎ未来クラブ総会
20 日 (日)	フェスタmy宇都宮
22 日 (火)	第7回定例理事会
26 日 (土)	とちぎ労働福祉事業団総会
31 日 (木)	第10回役員・幹部職員 定期学習会